

潮音寺だより

第 265 号
平成 17 年 11 月
電話 052-671-4831
ファックス 052-671-4856

<ホームページ> <http://www.ne.jp/asahi/choonji/namo/>

〒456-0034 名古屋市熱田区伝馬 1 -10-11

【出典】
法然上人『一枚起請文』

一^{いち}文^{もん}不^ふ知^ちの
愚^ぐ鈍^{どん}の身^みに
なして

あなたが

心の救いを

求めているのなら

理屈を

封印なさい

こだわりを

捨てなさい

そして

念仏を

申しなさい

写真：超空正道

地域猫

以前、本誌にて、「ノラの土産」と題して、野良猫の話題を掲載させていただいたことがあります。そうしましたら、インターネットを通じて、ある方から、次なるエピソードを引用されて、「野良猫」という呼称は好ましくないとの指摘を受けました。

—昭和天皇が留守中に、お住まいの庭の草を刈った侍従の入江相政に天皇は尋ねられた。「どうして草を刈ったのかね？」入江は、ほめられると思って、「雑草が生い茂って参りましたので、一部お刈りました。」と答えた。すると天皇は、「雑草という草はない。どんな植物でもみな名前があって、それぞれ自分の好きな場所で生を営んでいる。人間の一方的な考え方

で、これを雑草として決めつけてしまうのはいけない。注意するように。」と諭された。—

（入江相政「宮中侍従物語」）
当初、雑草と野良猫との接点が見いだせず、今ひとつ、納得がいかなかったのですが、外でうろろしている猫を、十把一絡げで「野良猫」と片づけしてしまう無神経さを、多分、「指摘されたのではないか」と思います。

猫を、飼い方別に分類すると、①家猫（主に家の中で飼われ生活している猫）、②外猫（家の外で生活しているが、誰かが餌をあげている猫）、③野良猫、④地域猫の四つに分けられるのだそうです。「地域猫」というのは、野良猫だった猫に対して、地域住民でルールを決めて、餌やりやトイレの世話

など、当番制で面倒をみている猫のことをいうのだそうです。

なるほど、猫好きの方からしてみると、猫のことを、もっと知って欲しいという思いあつての一言であつたと考えられます。

さて、猫好きの方は、本当に、猫のことが好きであります。それは、犬が好きだという感情と、微妙に違つようなのです。私自身、そのことに気付く、ある重大？な事件が起きたのです。

一月ほど前のある夕方、犬を散歩させていた折、真つ黒の小さな子猫が目の前を横切つていきました。薄暗がりでしたし、犬を連れていましたので、その時はそのままうっちゃっておきましたが、数日後、私どもの裏庭に、まだ乳をねだるほどの子猫を四匹連れた母

猫が、しばしば来るようになりま
した。そうして、しばしばいたら、
子猫一匹だけおい
て、母猫は姿を見せ
なくなっていました
した。そして、朝、庭
掃除をしております
と、こんな小さな子
猫でも、悲しいかな
野良猫の性、私の姿
を見ると、逃げよひやめるのです。



ところが、しばしばして、ある
雨の口、かわいそつに、ちよん
とひとり子猫は雨宿りしていま
した。その日は、不思議と逃げよ
うとせず、私の目をじっと見てい
ます。そして、素直に撫でさせて
くれたのです。

そのことを家内に言つて、もう
いけません。以前から、可愛い子

猫がいると言つて気にしていたも
のですから、早速だつこして連れ
てきて、以来、二度々々
の食事をあげるように
なったのであります。
確かに、「猫なで声」と
いう言葉があるように、
その甘え方は、餌が欲し
いだけなのかもしれま
せんが、放つてはおけな
い愛らしさがあります。

私どもの地域には、本当にたく
さんの猫がいます。それぞれが、縄
張りを持つており、厳しい猫社会
を生きていくために、はっきりと
した縄があるようです。最初に出
会つた黒の子猫は、いつも死んで
しまつたようです。後の二匹は、母
猫が、新天地を求め、現在では別
の所へ連れて行って生活していま

す。また、当方に入りにしている
猫をよく観察していますと、親だ
けが面倒を見るのではなく、祖父
猫と兄猫の一匹が、子猫の面倒を
見ており、その習性は、なかなか
面白いものがあります。

ただ、定まつた飼い主のいない
猫が、いろいろなトラブルを起こ
していることも事実です。そこで、
繁殖や排泄といった問題を地域の
猫として管理していこうという動
きで、各地で起こり始めています。
それには、地域住民の理解と、餌
代、避妊手術費用の負担等、クリ
アしなくてはならないハードルが
いくつがあります。

仏教では、涅槃図にも描いても
られない猫ですが、取りあえずト
イシを設置し、避妊手術をして、見
守つていこうと思つていきます。

如來 じゆらい

「相好」をもつて如来となすに
は非ず、相もなく、相を離れて、
寂滅の法なればなり」
〔華嚴經〕

姿や形は真の仏で
はなく、真の仏は悟り
そのものである。です
から悟りを見るもの
がほんとうの仏を見
るのです。

そう、「如来」とは、仏陀その人
をさします。仏陀の威嚴を讃えて
十号などの呼び名があります。
「如来」とはサンスクリット語の
タターガタの漢訳語で、タターは
「あるがままの真実」アーガタは
「来」、合わせて「あるがままの真
実からやってきた人」となりま
す。

住職通信

あわてんと
ゆっくり
ゆっくりしいや



「如来蔵縁起」という言葉があ
ります。人々の本性で、煩惱の中
におおわれ蔵されている仏とな
る清浄な可能性

から、すべての
現象が縁起した
と説く考えかた
をさします。最
近の仏教研究の
成果からは、大

きな問題を含みますが、仏教を
理解するためには大切なポイン
トになるものです。

雑記

（ひろさちや『仏教の百科』）

▼位牌堂

工事の取りかかりが少し遅れ、
十月十五日に、石柱と樹木を弘法
堂の敷地に移し、十七日から木造



庫裏部分の解体工事が行われまし
た。環境配慮の関係から、ほとん
どが手作業で、慎重に行われまし
た。

十月二十五日には、建設委員（檀
信徒総代）の方々に出席してい
た。地鎮式をさせていただく予
定であります。

工事中、何かとご迷惑をお掛け
しますが、ご容赦下さいますよう、
宜しくお願いいたします。

▼果実

秋は、いろいろな果物が実りま
す。なかでも、柿の実がなってい
るのを見ると、何か嬉しくなりま
す。柿の実が、夕焼けに映える景
色は、これからも、ずっと残って
いつて欲しい日本の風情です。

▼柿渋し思い出たぐる

えぐさかな 沐魚